



MARS-3

USER'S GUIDE



安全の為に確認下さい

JINBEI MARS-3をご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書には組立、安全なご利用に関する大切なご案内が記載されています。本書を熟読の上、正しくご利用下さい。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立て下さい。なお、本書の無断転載・2次使用を禁止します。

- ⚠ 可燃性液体が接触する可能性のある環境、雨天時や水中のご利用、保管は禁止です。
- ⚠ 強磁界、及び粉塵の多い環境でのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 結露を防ぐため、温度変化の激しい場所や炎天下の車中などでのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ フラッシュチューブやモデリングランプは素手で触らないで下さい。
- ⚠ バッテリーの過放電、過充電、専用充電器以外での充電は絶対におやめ下さい。
- ⚠ バッテリーを充電しながら、または、バッテリーに充電器が接続された状態でのご利用はおやめ下さい。
- ⚠ 充電器をコンセントに差し込んでから充電器をバッテリーに接続してください。充電完了後は速やかに充電器を外して下さい。
- ⚠ 筐体内への金属パーツの混入等にお気をつけ下さい。
- ⚠ 濡れた手や濡れた布で製品に触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- ⚠ 代理店以外による分解、改造、修理は禁止です。これらの形跡が認められた場合、保証期間は無効になり全ての保証対象外となります。
- ⚠ 使用する前に、ティルトハンドルをしっかり締めてください。
- ⚠ 被写体の至近距離での発光は健康被害を引き起こす恐れがあります。絶対におやめ下さい。

その他 利用上の注意

◆無償保証期間は1年間です◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆プラグの抜き差しはプラスチック部分をしっかり持ってゆっくり行ってください◆コードを引っ張る等の行為は絶対におやめください◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆バッテリーは消耗品です。定期的な交換をおすすめします◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合があります◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありません◆オムニバスを含む弊社契約店以外からのご購入品は保証対象外です。

お届け内容



各部名称



リチウムイオンバッテリーの装着と充電

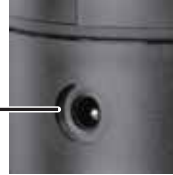


バッテリーのガイド爪と本体側の溝を合わせて、押し込みます。「カチッ」という音がするとロック完了です。ロックボタンが凸状態になっていることと、バッテリーが外れないことを確認して下さい。取り外す場合にはロック解除ボタンを解除してから溝に沿って取り出します。**落下に注意して下さい。**

電池背面には残量表示のインジケータがあります。

- レベル4 : 100-75% 充電不可
- レベル3 : 75-50%
- レベル2 : 50-25% 充電可
- レベル1 : 25-5% 要充電
- レベル0 : 5%未満 過放電により破損の危険有

充電用ソケット



電池の残量表示が25%を示したら充電の準備を始めて下さい。(低残量時はMARS-3を駆動出来ません)専用充電器(16.8V / 2.8A)でおおよそ1.5時間で満充電となります。**過放電・過充電は厳禁です。(バッテリーの故障、破損、安全上の問題が発生する場合があります。)**

リチウムイオン電池の特性、性能などについて

- ▽新品のバッテリーは2, 3回の充放電後に最高の性能を発揮します。
- ▽おおよそ300回の充放電が可能です。
- ▽使用頻度に比例してバッテリーは劣化し、充電可能容量が減っていきます。
- ▽環境温度はバッテリーの充放電性能に影響を及ぼします。
- ▽バッテリー残量や性能は高温や低温時に著しく低下します。
- ▽屋外での利用時には通常よりも短い時間での利用になる場合があります。
- ▽利用適正温度は15度~25度です。
- ▽極端な高温・低温下ではバッテリーが一時的にシャットダウンすることがあります。

リチウムイオン電池の充電について

- ▽過放電はバッテリー容量に影響を及ぼし、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ▽ストロボ液晶、バッテリー上の残量表示を参考に、早めの充電をおすすめします。
- ▽使用後は10分程度の冷却時間を設けてから充電して下さい。
- ▽充電器をコンセントに繋いだ後に電池と接続します。
- ▽充電は乾燥した可燃物の無い場所で行ってください。
- ▽専用充電器以外の充電器は使用禁止です。
- ▽充電器上のLEDで充電状態を確認し、充電完了後は速やかに取り外して下さい。
- ▽保管中の場合、3ヶ月に1回は充放電のサイクルを行い、満充電で保管してください。

リチウムイオン電池の取扱と保管について(長期間利用しない場合)

- ▽電池を分解・改造することは禁止です。
- ▽電池の接点を短絡させることは禁止です。
- ▽水や火の中に電池を廃棄することは禁止です。
- ▽車中等、高温や低温環境にさらさないでください。
- ▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ▽他の目的のために電池は使用できません。
- ▽長期間使用しない場合は予め満充電にして保管して下さい。
- ▽涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ▽子供の手が届かないところに保管してください。

メニュー

液晶表示直下のボタンを押すことで、機能の切替、選択が可能です。★がつく機能は、リモコン使用時にリモコン上の設定が優先される事があります。



MODE M/TTL マニュアル/TTL切替★

SYNC フラッシュモード切替

- NOR ノーマルモード
- H ハイスピードシンクロ (対応リモコン使用時。出力制限6.0-9.0)
- FRE フリーズモード (閃光速度最高1/19000秒、Mモード時のみ)
※フリーズモードは色温度が極端に高くなります。

((P)) ワイヤレスモード状態

- ((P)) C Canon (TR-Q6C 利用時のみ)
- ((P)) N Nikon (TR-Q6N 利用時のみ)
- ((P)) S Sony (TR-Q6S 利用時のみ)
- ((P)) V6 TR-V6 (TR-V6 利用時のみ)
- ((P)) A6 TR-A6/TRS-V (チャンネル制御のみ)
- ((P)) TRS TRS (チャンネル制御のみ)



CH チャンネル切替 (00-15)

GR グループ切替 (A-F)

グループ設定はTR-A6、TRS-V、TRSでは利用できません。



▼それぞれのファンクションボタンを押すと、選択状態に切り替わります。選択状態のまま、「調光ダイヤル」を操作することで、各値を設定可能です。「調光ダイヤル」を押すことで決定出来ます。



♪ チャージ完了音ON/OFF★

👁️ 光スレープON/OFF★



▼チャージ完了音がオフの場合でも操作音等は発生します。
▼モデリングランプはON/OFFのみ(調光機能無し)。ボタン9かりモコンで操作可能です。

基本操作

- ① **バッテリーをセット** 前項を参考に、満充電状態のバッテリーをセットする。
- ② **ヘッド装着** ソケット⑧にヘッドケーブルを装着する。(爪の形を併せて装着、ネジでロックする)
- ③ **電源ON** 電源ボタン⑨を1.5秒以上押す。製品ロゴの起動画面が現れたらボタンを離す。
- ④ **設定・利用** 本書各項を参考に、各機能を設定する。(⑩/⑪/⑫/⑬)
- ⑤ **電源OFF** 電源ボタン⑨を1.5秒以上押す。画面が真っ暗になったらシャットダウン完了。



設定方法 (TR-Q6)

別売りのTR-Q6を使用する際には、マニュアルモードの他に、対応各社のTTLやハイスピードシンクロが可能で、一部機能についてはリモコンから設定、またはリモコン上の設定が優先されるため、**操作手順の①、②、必要に応じて手順⑥ (TTL初期値設定が必要な場合)のみ設定**するだけで初期設定が完了します。

操作手順	操作ボタン	TTL	Manual
①無線設定	10,13	MENU1で無線モードを選択※1 (📶)C / (📶)N / (📶)S	
②CH/GR設定	10,11,12,14	MENU2に切り替えてCH、GRを設定※1	
③その他設定	10,11,12,13,9	MENU3に切り替えてチャージ完了音、スレープ、モデリングランプなどを設定※2※3	
④モード設定	10,11	ボタン11で「TTL」を選択※2※6	ボタン11で「M」を選択※2
⑤シンクロモード設定	12	「ノーマル」「HSS」を選択※2 (NOR) (H) (FRE)	「ノーマル」「HSS」「フリーズ」を選択※2 (NOR) (H) (FRE)
⑥出力設定	14	露出補正値をダイヤルで設定※4※5	出力を設定※2※5

※1. TR-Q6を利用する場合のみ有効。

※2. TR-Q6、その他リモコンから上書き設定可能な場合有り。(ノーマルとフリーズの切替は不可)

※3. TR-Q6上からモデリングランプのON/OFF可能。

※4. ストロボ本体の補正値が初期値となる。(本体補正値+リモコン補正値=総補正値)

※5. 調光ダイヤルを短く押し、出力値を選択状態にした場合は1EV毎の可変が可能。

※6. 利用機種や環境、カメラ設定、シンクロモード状況等により、調光値が変わる場合があります。

設定方法 (TR-V6,TR-A6/TRS-V,TRS)

別売りのTR-V6、旧世代のリモコンを使用する際には、「**マニュアルモード**」かつ「**X接点以下の同調速度**」でのみ利用可能です。なお、TR-V6利用時には、予めリモコン本体のモード切替が必要です。

操作手順	操作ボタン	Manual
①無線設定	10,13	MENU1で無線モードを選択※1 (📶)V6 / (📶)A6 / (📶)TRS
②CH/GR設定	10,11,12,14	MENU2に切り替えてCH、GRを設定※6
③その他設定	10,11,12,13,9	MENU3に切り替えてチャージ完了音、スレープ、モデリングランプなどを設定※2※4
④モード設定	11	不可(Mモードのみ)
⑤シンクロモード設定	12	「ノーマル」「HSS」「フリーズ」を選択※3 (NOR) (H) (FRE)
⑥出力設定	14	出力を設定。※2※5

※1. TRS-Vを利用する場合「TR-A6」を選択。

※2. リモコンから上書き設定可能な場合有り。(ノーマルとフリーズの切替は不可)

※3. TR-A6のみでHSSの利用が可能(Canon/Nikon)

※4. 常時MENU3が画面に表示される

※5. 調光ダイヤルを短く押し、出力値を選択状態にした場合は1EV毎の可変が可能。

※6. GR設定はTR-V6のみで対応可能。

機能特徴・注意事項

- ◆ **TTL** TTL TR-Q6により対応。カメラ機種、設定、環境、ストロボ設定などにより、測光値や補正値が変わる場合があります。また、TTL測光によるストロボ出力値をマニュアルモードに引き継ぐことは出来ません。
- ◆ **HSS** 高速シャッター TR-Q6により対応。カメラ機種、設定、環境、ストロボ設定などにより、効果が異なる場合があります。ノーマルモードと比較して色温度が上昇します。出力範囲が6.0-9.0に制限されます。
- ◆ **Freeze Mode** フリーズモード 最速1/19000秒の閃光速度。クリップオンストロボを凌ぐ閃光速度が得られます。色温度が上昇します。
- ◆ **Wireless JINBEI TR** 無線 国内認証取得のシステム。機能限定ながら旧世代のリモコンも利用可能です。
- ◆ **OverHeatProtection** 安全回路 内部温度計で常時計測し、オーバーヒート時には自動的に機能を停止します。
- ◆ **Continuous Capture** 連写性能 出力が1.0-3.0の場合、秒間20発程度の連写に追従(バッテリー残量や電波状況による)。Canon用TR-Q6使用時は、カメラのドライブモードが連写モードになると自動的に本機の最大出力が3.0に制限されます(自動復帰はしません)。

バッテリーの取り扱いに関しまして

本書にはバッテリーをご使用いただく上で、ご注意いただきたい点を記載しております。大切に保管の上、安全な運用にお役立てください。

リチウムイオン電池の特性、性能などについて

- ▽新品のバッテリーは2～3回の充放電後に最高の性能を発揮します。
- ▽使用頻度・回数に応じてバッテリーは劣化し、充電可能容量が減っていきます。
- ▽保管中の自然放電により過放電となる場合がございます。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。
- ▽バッテリー残量や性能は高温や低温時に著しく低下します。望ましい利用適正温度は15度～25度です。
- ▽屋外環境下（高温、低温、直射日光が当たる場所など）での利用時には通常よりも短い時間での利用になる場合があります。
- ▽極端な高温・低温下ではバッテリーが一時的にシャットダウンすることがあります。

リチウムイオン電池の充電に関して

- ▽ストロボ液晶、バッテリー上の表示を参考に、残量が50%以下の場合は早めの充電をおすすめします。
- ▽使用後は10分程度の冷却時間を設けてから充電して下さい。
- ▽充電器をコンセントに繋いだ後に電池と接続して下さい。
- ▽充電は乾燥した可燃物の無い場所で行ってください。
- ▽専用充電器以外の充電器は使用しないで下さい。
- ▽充電器上のLEDで充電状態を確認し、充電完了後は速やかに取り外して下さい。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。

リチウムイオン電池の取り扱いと保管について

- ▽保管中、自然放電により過放電となる場合がございます。3ヶ月に1回は充放電のサイクルを行い、満充電にしてから保管してください。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意ください。
- ▽電池を分解・改造しないで下さい。
- ▽電池の接点を短絡させないで下さい。
- ▽水や火の中に電池を廃棄しないで下さい。
- ▽車中等、高温や低温環境にさらさないでください。
- ▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ▽他の目的のために電池は使用できません。
- ▽涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ▽子供の手の届かないところに保管してください。
- ▽バッテリーは有害物質を含むため、使用済みのバッテリーは必ず各自治体の規定に基づいた廃棄方法に準じて廃棄処理を行ってください。
- ▽バッテリー単品の運搬時、廃棄時には金属端子部分に絶縁テープを貼り付けるなど、回路がショートしないようにして下さい。